扇ねぷたを引き綱する地域の方々

堂々と先導する佐久間会長

相馬ねぷた愛好会いざ出陣

勇ましい掛け声で一同を盛り上げる

園児の小太鼓隊と囃子がねぷた祭に色を染める

8月1日～7日までねぷた祭り2019が開催された。

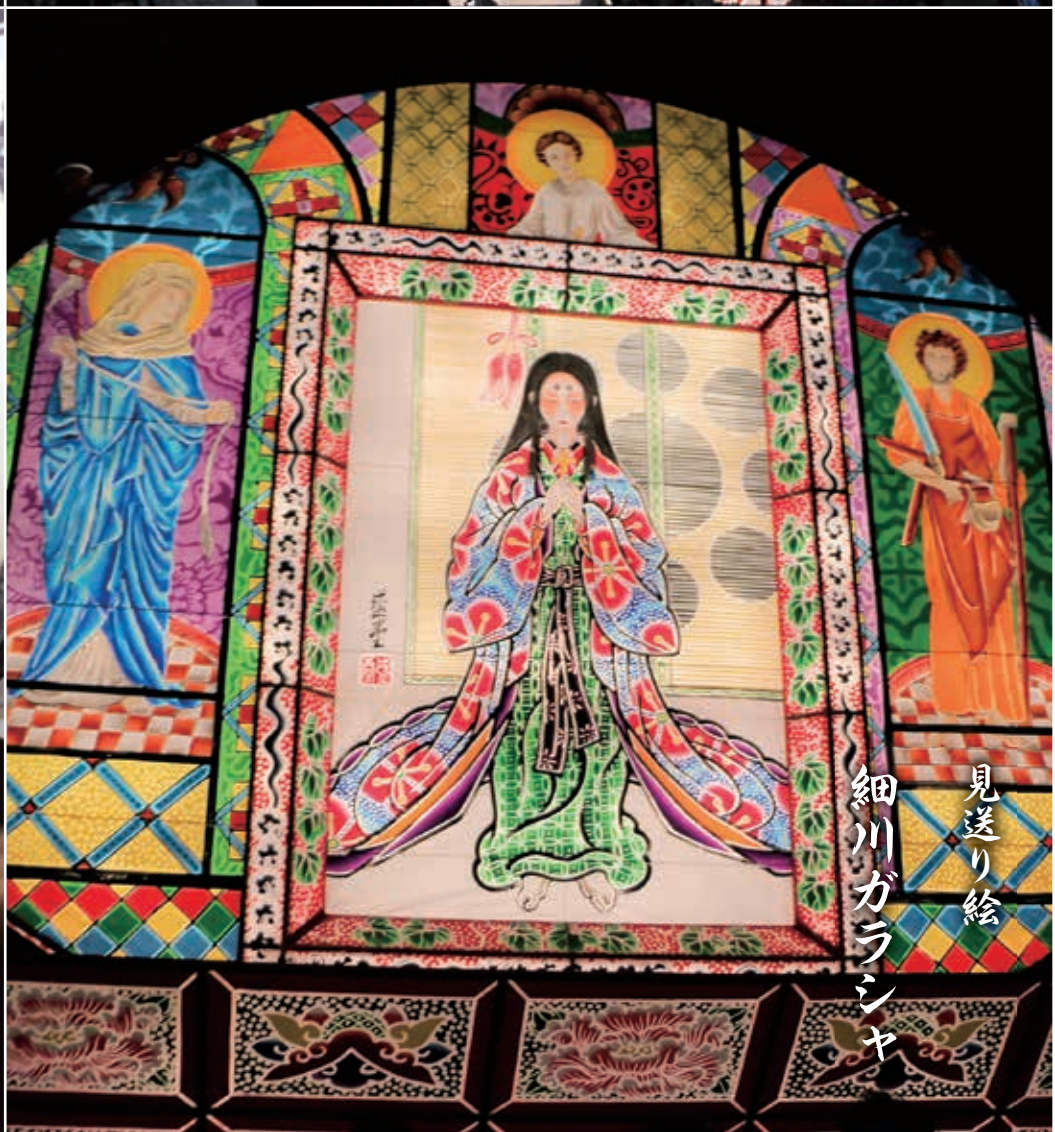
相馬ねぷた愛好会では、佐久間康幸会長を筆頭に、相馬こども園の園児や、ベトナム実習生等もねぷたを引いたり、手持ちねぷたなどを持って運行した。町印から太鼓台まで合計8台が運行し、それぞれ相馬小学校、相馬中学校、父兄や関係者が同行し引綱をした。

運行がスタートすると大人から子供までが笑顔から真剣な表情になり緊張感が伝わってきた。沿道の観覧客を目の前にすると小型ねぷたを運行していた子供たちや前ねぷたを運行していたベトナム実習生はパフォーマンスをして観覧客を魅了していた。同時に太鼓や囃子、じゃがらも熱が入りそれぞれの音が響き渡る。「ヤーヤドー」と声をかける人も仲間を奮い立たせるような声を出し続け盛り上げていた。その甲斐もあり弘前観光コンベンション協会会長賞を受賞することが出来た。佐久間会長は「沢山の方が参加してくれて驚いたが、おかげでとても盛り上がった。来年はもっと上の賞を狙いたい」と来年へ向けて意気込んでいた。

近くで見せるパフォーマンスに
拍手が沸く

鏡絵
吉利支丹明石掃部頭全登
大坂の陣にて
奮戦の図

ねぷたを彩る太鼓の音



見送り絵
細川ガラシャ